

富山県
神社庁報

かわら版

平成二十四年八月二十五日発行
発行所 富山県神社庁
編集 教化委員会広報部会

東北応援企画

出羽三山神社・竹駒神社
正式参拝と震災被害視察の旅

去る七月三日から五日までの日程にて富山県神社庁の参拝旅行「出羽三山神社・竹駒神社正式参拝と震災被害視察の旅」が行われました。昨年も東北地方の旅行が予定されていましたが、その後の大震災のために延期となっていました。その思いもこめての被災地視察の旅でした。一行は庁長、副庁長他神職六名を含めて総勢五十九名・バス二台の団体となりました。



湯殿山神社にて

一日目は朝富山を出発して北陸道を通湯へ、新潟ふるさと村での昼食の後、村上市での笹川流れ遊覧船を楽しみました。ここでは奇岩の景色もさることながら、かもめへのえづけ（えびせんで）のほろが興奮した人も多かったようです。一日目の宿は鶴岡のあつみ温泉にて、親睦を深めた夜でした。

二日目は羽黒山麓にて出羽三山神社への正式参拝です。出羽三山は羽黒山、月山、湯殿山ですが、ここにて三山を併せてお参りします。昼食は宿坊にて御祈禱をうけた後、独特の山菜料理でした。次に月山は無理なので、湯殿山神社へはバスで終点まで向かいました。少し歩き、裸足になって撮影禁止のところを進み、お湯の流れ落ちる磐境をご神体とするところ、その前での野天での参拝の後、磐境の巡り、熱湯の滑りそうなところを上り下りして戻りました。皆さんしっかりと歩いておられました。山形道を通って二日目の宿は仙台市の秋保温泉に泊まりました。

三日目は名取市の被災地へ向かいました。町が消えた後にポツンポツンと建て替えた家、がれきのままの家が残る中、湊神社の跡を訪ねました。社額と狛犬が放置されていて、かろうじてここが神社跡とわかりました。全員黙禱を捧げて、死者を悼み復興を願いました。この後、仙台空港にて東北物産の買い物に時間を割き、やはり被災地岩沼の日本三稲荷・竹駒神社へ向かい正式参拝のあと、宮司さんからお話を聞きました。お土産を頂き、磐越道経由での帰途に着きました。長い旅程でしたが皆さん無事に帰ることができ、また心配された天候も持ち良い旅でありました。

林 直大 記



飯舘村の子供たちと海水浴

第二十八回 庭燎の集い

今回は、八月九日（木）富山市岩瀬白山町鎮座 諏訪神社（木船信義宮司）に於いて開催しました。氏子児童二十三名の他、福島県飯舘村 綿津見神社（多田宏宮司）主催のサマースクール参加者二十七名の児童にも参加頂きました。



田んぼ学校 田植風景



諏訪神社での正式参拝

富山と福島との友情の絆を結ぶということ、あんどん作り、火おこしなど行ない、夕食のバーベキューの後、夕方七時より参加者全員で福島県飯舘村の復興祈願祭を斎行しました。心ひとつにして東北大震災よりの復興を願った次第であります。

田んぼ学校

去る五月十二日（土）、富山市塩奥野文男様の田んぼをお借りし、「田んぼ学校」を開催いたしました。この事業の主旨としては、私たち日本人と関わりの深い稲作を通して、収穫の喜びと感謝を考え、併せて稲作と神道の結び付きを学ぶことであります。

当日は、天候にも恵まれ、朝九時三十分より富山市塩鎮座多久比禮志神社に十五名の児童が集まり、初めに御田植祭の神事を斎行し、児童に自ら神饌を献じてもらい、玉串を捧げ、無事の収穫を祈念してもらいました。そして児童が実際に田んぼに入り、泥だらけになりました。一つ一つ丁寧に田植をしました。その後、昼食のカレーライスを食べながら、部会員より「神様とお米」について、いろいろとみんなで感じた事を話し合いました。

青少年対策部会長 平尾智胤 記



あんどんに込めた思い

第三十五回お宮を描く写生大会

写生大会は、今回三百九十九作品の応募があり、今年度より、一般部門を新設し、産土の神社を祖父から孫までの三世代で描いた家族の方々もおられ、当部会としても、とても有難く思っております。画家の堀敏治先生・野口隆先生に審査をお願いし、金、銀、銅賞、佳作、各特別賞の入選作百七十作品を選んでいただきました。恒例により、全作品をとやま自遊館で展示、入選作品を富山・高岡大和で展示しました。

青少年対策部会長 平尾智胤 記



富山県神社庁長賞
馬淵美里（富山市立奥田北小学校 6 年）



神社本庁統理賞
神嶋紗良（高岡市立博労小学校 6 年）



富山新聞社賞
六反建志（南砺市立福野中学校 1 年）



富山県神社総代会会長賞
清水稔秀（富山市立萩浦小学校 6 年）

第十四回「浦安の舞講習会」

平成二十四年八月六日（月）から九日（木）まで、恒例の「浦安の舞講習会」を射水神社にて開催しました。初級者講習は六日・七日の二日間、篠原俊栄・河合寿美子両先生にご指導を頂き、小学生から神職まで二十一名が受講しました。

指導者講習は、七日から九日の三日間、神社音楽協会副会長の先崎徑子先生をお迎えし神職・現役巫女等十一名が受講しました。最終日午後には成果発表会、引続き、ご神前にて奉納を致しました。

本年は、男子神職四名が参加し、会場内は活気に溢れ、先生方の丁寧なご指導の下、たいへん有意義な講習会となりました。これより後、受講者の皆様には日本の平安を祈る「浦安の舞」の心を大切に練習を重ねて頂きまして、祭礼には氏神様、また奉務神社の御社頭で立派に舞えるよう願っております。

研修部会長 炭谷 淳 記



雅 楽 研 修 会

『第九回 雅楽研修会』

去る七月九日十日の両日、「第九回雅楽研修会」を開催しました。猛暑の中ではありませんでしたが宮内庁式部職楽部 元首席楽長 上 明彦先生、東京藝術大学 非常勤講師 副島昌俊先生、明治神宮代々木雅楽会楽長 柴田直宏先生の熱心なご指導により、精一杯練習に励みました。今年の課題は管絃『太食調』の「音取」「長慶子」「輪鼓揮脱」「傾盂楽急」「合歡塩」、舞楽「蘭陵王」でした。いずれも高度な楽曲で、短期間で習得することは困難ですが、この研修会をきっかけにして各自が情熱をもって練習に取り組み、自分のものにしてほしいと思います。ま

た、この研修会にあわせて明治神宮代々木雅楽会との雅楽交歓会をしておりますが、今年は明治神宮で明治天皇百年祭が斎行されたこともあり、次回に延期することになりました。

来る十月十四日（日）午前十時から午後六時三十分まで、総曲輪グランドプラザにて、第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉祝『雅・音楽祭』悠久の調べにのせて『』が開催され、雅楽部として出演します。今回は昨年からの練習を重ねてきた舞楽「蘭陵王」を演奏する予定です。これまで励んできた成果が充分に発揮できるよう演奏しますので、是非、お越しいただき、ご声援賜りますようお願い申し上げます。 雅楽部 部長 藤井秀嗣 記



浦 安 の 舞 講 習 会

落ち葉でさえも、神とされていることがわかりました。

二日目の福山先生の豊栄舞の研修では、以前に舞をしたことがある班、初めて舞をする班に分かれわからない所は先生に聞き直し、また隣の人と教え合ったりして大変わかりやすい講義で、参加された方と親交を深めることも出来ました。 富山県女子神職会 坂野良子 記

第十四回

北陸地区女子神職研修会

平成二十四年六月二十一日、二十二日の二日間に研修会が福井県で行われました。初日に大湊神社へ正式参拝させていただきました。松村宮司様の講義を聴いて、神道とは、自然の力を信仰し、食物を育てるのも、例えば、山や海、太陽、一枚の



北 陸 地 区 女 子 神 職 研 修 会